

救命胴衣ノ使用ヲ適切ナラシム者意ヲ要ス  
 三予自ラ船艇部ノ検査ヲ行ハシテ必要ニ應ジ  
 艇方面ノ状況ヲ監視ス  
 和田中佐「艇艇部ノ検査(船橋ヲ念)ヲ独ニ行  
 施ス」

輸送指揮官 露田中佐

下達伝令受領者ヲ集メ口達筆配

後印刷文付

輸送指揮官  
 命令

抗輸命第十七號

七一九〇九〇  
 鹿見島港

- 一 僚船ニ傳染病患者(疑似)発生セルニ付備港  
 在泊間海水ヨリ一切ノ食器洗滌ヲ禁ス
- 二 食器洗滌ハ各人水筒水ノ適切ニ使用ヨリ食事  
 間ニ於テ飲水ト併ニ實施ス
- 三 警戒備司令「特ニ日直系統ノ將校以下ノ注意者

東京小津船

陸軍

此項各要ノ實施ヲ監視指導ス

輸送指揮官

露田中佐

下達伝令受領者ヲ集メ口達筆配後印刷文付

記 幸 一 部隊ハ依然度見島港ニ假泊シ右ノ行動ヲ準備ス

二 〇〇〇〇ノ動一時間ノ予定ヲ以テ兵器検査ヲ實施ス

其成績概シ長官ニ報告シ團長ニ報告ス

三 保健ニ注意シテ日勤日夕長時後基本休養ヲ受ケ爾後

行勵行ス

四 〇〇〇〇ノ船艇内ノ甲板ノ清掃ヲ實施ス

検査 五 〇〇〇〇ノ船艇内ノ中佐船内視察ヲ行ハシテ

検査勤務務ヲ担任ス

一 船艇内指揮官担任

二 待機位置指揮官担任

永野中佐

又左証四六。部隊指揮下入。

一新田之衛下  
一 中隊 小岩千段以下十一名

二 中隊 西田重吉以下十一名

三 中隊 齊藤伍長以下十一名

勤務  
一 新着監視 第一中隊 村山安良以下九名 職務ス

二 衛 駐隊中隊中村一等兵以下六名 職務ス

三日 直 第一中隊 鈴木重吉 職務ス

衛生  
一 第九中隊 溝口上等兵五名 保護三等兵 乘鞍輪船内 休養

二 部隊 治療 即水三蛇ムタメ 左証車頭ヲ 徹底的ニ 治療ス

三 捕虜 各人五名以上 (甲直下 下証 檢査 乗鞍輪船)

四 水筒 檢査 乗鞍輪船 (一 定時 服用 蒸氣 浴室)



昭和十五年七月十七日

抗輸命第廿八號

陸軍 第一七〇八〇  
廣見島 下等

東京 小津浦

陸軍

一 部隊 一部ヲ以テ 退避 又 漂水 訓練ヲ 實施セリトス

二 本船 短艇ノ 一部ヲ以テ 本訓練ニ 協力ス

三 某四六。部隊 將校以下ノ 前頭 訓練ヲ 實施ス

本訓練 射撃 射撃 射撃 任務ヲ 解除ス

四 得テ 事情ノ 変遷ニ 應ジテ 本船ノ 設備ヲ 改修ス

五 一〇。此ニ 水泳不能者ノ 人数ノ 甚多ニ 事ヲ 報告ス

六 三 御子 神 部隊 七月一日。以降 前頭 訓練 終了後 約 半

時間ニ 是レ 向 某四六。部隊 指揮 全船 内務 勤務ヲ 交代ス

七 細部ニ 相互 協定ス

八 第四六。部隊 將校 以下ノ 一〇。頃 船中 板ノ 船會 樓

二 面ニ 集合ス

九 服裝ニ 裨又ニ 猿又ノ 上ニ 救命 胴衣ヲ 裝ヒ 地下 足袋

ヲ 穿テ 左証 物件ヲ 裝着ス

一〇 部下ノ 勤務ヲ 監視ス

一一 部下ノ 勤務ヲ 監視ス

1. 手套 2. 手拭 3. 小綱 4. 長襪  
 五. 三角袋 各隊各ニ隨時左舷ニ投下得ノ準備ヲ  
 覚整スル  
 六. 一ヨリ以降訓練終了近船左舷便所ノ使用ヲ禁  
 下達隊人命令受領者、車入口達筆此役印刷配布  
 御隊命令簿入疑  
 一本隊ノ入ヨリノ事務防根度ヲ警花ニ依テ各隊員ニ令  
 一ヨリノ甲板ニ集合スル  
 二各隊ニ現在地ニ假若待機中本隊準備ニ遺憾ナク  
 勤ニ特ニ準備ヲ振作シ諸規定ヲ遵守シ務ニ防根即永  
 五班内保備ヲ徹シト共ニ保健ノ四正ニ力カスヘシ  
 三各隊ニ本ノ準備番手ニ更ニ注意下士度ノ指示ヲ受  
 陸軍

東京小洋館

會報  
 一各隊ニヨリノ新四ヨリノ予定ヲ以テ衣取上ニ対テ  
 監視ニ付テ準備スルニ付御隊長室ニ駐ニテ其ノ扱  
 行ニテ集合ニ付  
 二三三廠ニ於テノ行  
 三船内通路ノ開放  
 四命令、徹底ト正確適切ニ指導シ、進行ノ確認  
 五、傳達事項ノ迅速確實ト被傳達者ノ復命  
 記事  
 一ヨリヨリノ勤務自ラ左ノ通ク交代服務  
 一ヨリ直下士度 芥久中隊 鈴木庫曹  
 二臨時救急備司令 御玉神中尉  
 三日直 水野谷少尉  
 四、出撃下士度 平山庫曹

5. 衛 兵

齊藤任長以下六名

6. 対潜監視哨

- ① 池田任長以下九名
- ② 保町任長以下九名
- ③ 西岡重吉以下九名
- ④ 宮林上下以下九名
- ⑤ 吉川任長以下九名
- ⑥ 岡本上等兵以下九名
- ⑦ 小野任長以下九名
- ⑧ 山右任長以下九名
- ⑨ 鶴本厚吉以下九名

衛生

一 芥久中隊 瀨口上等兵山口二等兵回復

記 事

本部 鈴木健治上等兵登船 船内 休養

一 部隊 本日臨時勤務ヲ交代シ臨時檢査勤務ニ對シ

潜 監視 艇ノ要領ヲ徹底シ敵ノ放言ニ對シ

抗 輪 命 某 某 號 鹿 見 島 港

一 部隊 明日八日退船及漂流水訓練ヲ實施ス

聯 隊 長 官 命 令

陸 軍

書 院 長 官 命 令

1. 手 書 船 務 部 隊

2. 手 後 船 務 部 隊

細 部 林 務 命 第 一 號 檢 査 官 於 己 官 署

二 檢 査 官 於 己 官 署 檢 査 官 於 己 官 署

三 予 以 明 天 八 日 上 陸 檢 査 官 於 己 官 署

出 航 準 備 二 清 潔 子 期 々

輸 送 指 揮 官 瀨 口 中 隊

下 達 情 命 令 使 領 者 事 口 達 業 記 後 印 創 表 付

昭 和 十 九 年 七 月 十 八 日

御 隊 命 第 九 號

一 部 隊 本 天 會 一 書 第 一 回 退 船 漂 流 水 訓 練 上 官 表 示

天 年 天 命 隊 候 命 令



記

一 部隊... 御子神中尉

二 水野少尉... 統制官トシテ全隊ヲ統一スルヲ期ス

三 全般統制官トシテ... 茶合大尉ニ連絡シて... 花ニ関シテ

四 部隊本部下士官... 全般統制官ニ補佐シテ... 隊長

地位ニ在リテ... 責任ヲ負フ

五 予ハ... 御子神中尉

下達信... 命令ニ従フ者ニ集ム口達筆記

陸軍

勤務

一 氷不能者 (患者ニ大ニ多シ但シ... 酔者及覺醒者トス)

一四〇。全食... 吉川伍長

日直上等兵

衛生 矢

計者監視

坂ノ伍長以下九名

大岡上等兵以下九名

給養 一 船内給養 甘味串然與...

衛生 一 全般ニ元氣旺盛トシモ... 船酔者多クアリ

本部... 鈴木上等兵... 回復...

第一中隊... 野一等兵... 発熱...

抗輸命第一〇號... 鹿児島

一 諸情報ヲ綜合スルニ... 南西諸島... 特ニ大隅... 送映

及山口湾北端附近海面ニ... 敵艦不斷ニ... 春動...

輸送指揮官

企圖シタルモノ如シ

一、本船現在地ニ在リテ、カヲ九一七船団ノ編成ニ入、其ノ第一分団ノ二番船トナリ、明十九日ヨ五〇〇出港連夜、速ニ大梅面ヲ以テ大級ノ作戦輸送ヲ実施セリトス

梅軍艦隊ニ陸揚軍航空隊ノ一部、本船団ノ防護衛ニ任ス

三、カヲ九一七船団ノ編成航法又航程ノ細部ハ所要幹部ニ別示ス

四、各隊特ニ対潜監視ヲ嚴ニ灯火管制ニ徹シ積極的戦果放行ノ好機捕捉ニ十全ノ努力ヲ盡スト共ニ併セテ整定タル退避動向ノ其實行ニ方遺憾ナクヲ期スヘシ

本十八日ノ消灯時限ハ二〇三〇、明十九日ノ起床時限ハ五〇五〇ニ変更ス

陸軍

五、予、船内輸送指揮官室ニ在リ

航行間適時船橋ニ位置ス

輸送指揮官 西路口中佐

下達位 中隊長以上ヲ集メ、要示口達後印刷交付ス

記事

一、部隊防謀ニ徹スルニ敵偵査隊ニ乗リ、梅面ニ投下ノ嚴禁シ、日直下止ルヲ以テ、進下備ヲ要部棄物ノ收容ニ努メタリ

二、カヲ九一七船団ニ徹シ、煙音ノ喫煙ヲ禁ズ、且、三、防艦ニ圍ミ、各中隊毎日直下止ルヲ以テ徹底的ニ捕獲ニ力メ、船内各部隊ノ首位ヲ巨砲ヲ以テ四、防護ノ徹底ニ爲シ、生米ノ飲料ヲ嚴禁ス、五、自一、九一五分

天  
海神  
日  
明  
晴

昭和十五年七月十八日

晴

記 事 一、皇宮御前隊出陣ニ方々全員皇居進拜ニ武運

長ク新念ニ出陣準備遺骸ナキヲ期ス

二、五七九ニ進場ニ備ヘ下位ニ目的ニ向フ

三、三日ノ不降ニ進場ニ備ヘテ 前夜時間一分

前線ノ結果概シテ良好トモ各指揮者ノ人負ノ掌握不十

全ク一層ノ訓練ヲ要ス

勤務 一日直下官 二日直下官 三日直下官

日直上等兵

野口上等兵

青井上等兵

中村上等兵

田巻上等兵

西岡軍曹

桐山伍長

鈴木軍曹

陸 軍

計者監視

① 阿波浦上等兵以下九名

衛生

一本部鈴木上等兵休養

其他變化ナシ

衛生指揮官

抗輸命 第三一號

大隅海峽

一、敵情ニ関シ新報ヲ得サレモ一七五ヲ海軍護衛艦隊

指揮官今夜敵潜水艦ニ對シ特ニ攻撃スルヲ嚴ニスルニ日

船団全般ニ指令ス

二、部隊ニ必生必勝ノ信念ニ徹シ夜間攻撃ニ方全ク期ス

三、各隊ニ夜間船橋ニ定值ス

四、下位ニ夜間船橋ニ定值ス

輸送指揮官 野口一等兵

下位命令受領者ニ要旨口達スル後印付ス

學神

天 年 月 日 候

昭和十九年七月三十日

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 陸軍少将 陸軍中將 陸軍大佐 陸軍少佐 陸軍中佐 陸軍大尉 陸軍少尉 陸軍中尉 陸軍大士 陸軍少士 陸軍中士 陸軍大卒 陸軍少卒 陸軍中卒 陸軍大兵 陸軍少兵 陸軍中兵 陸軍大卒 陸軍少卒 陸軍中卒 陸軍大兵 陸軍少兵 陸軍中兵

記 事 一五七九依然目的地に向航行中部隊主トニ夜間返

式ヲ最ニ昼間ヲ専ラ休養第一トス

二御部隊ハ巡察下士官ヲ三名ニ増加シ残余ノ下士官ハ二時

間ヲ周シテ対潜監視ニ任セシメ昼ニ至嚴テ警戒ス或

スニ夜間ハ船艙内ニ舎内監視(各中隊三名先)是

置レ他ハ甲板ニ全員監視ノ任ニ留ラシム

一日直下士官

③ 奇藤 伍長

④ 保川 伍長

⑤ 吉川 伍長

三衛 兵

⑥ 水野 上等兵以下六名

三日直下士官

乙部 伍長

長島 上等兵

平川 上等兵

小和田 上等兵

四対潜監視

⑦ 野口 上等兵以下六名

陸 軍

陸 軍

衛 生

神 聖

午 月 日

天 候

昭和十九年七月三十日

晴

航 輪 命 第 三 三 號

鳥島南東部

一敵情ニ因リ新報ヲ得テ左舷ニ新沖永良部島附近

ニ最近偵察船敵着艦ノ多ク遭難セシ海域ナリ

本船前依然至嚴ニ警戒ス航行ヲ續行シ本夕一九〇頃

中華洋線島嶼偵察船ニ遭シ爾後行動口津浦ス等

ニ警戒ス全般ノ警戒ニ盡シ航行假泊間ヲ向テ依然至嚴

ニ警戒ス

三各隊ハ依然至嚴ニ警戒ス航行スルニ特ニ南西諸島

ニ警戒ス



爾今特示之、外假泊地ニ於テ上陸、或ハ裝備ノ要領  
ニ航行間ニ於テモ同シ

明ニ十五日ノ起床時限ハ六ノ二更更ス

四、裝備司令ニ不斷ニ日直系統ノ將校以下ノ督勵ニ之別

諸項ノ嚴禁トシ、警行ノ整齊ヲ示シ、特ニ夜間航行間

無制ニ位置違者ハ危重ノ罪トシ、其恠誤防止ニ固シ、積

極的妥嚴工指齊、自齊、嚴禁ス

六、裝備入港後ノ行動圖ハ別命ス

輸送指揮官 露露口井佐

下達後命令員領者、自露露口達後即副支付

一、依整月助也、建機中

一日直下管 ①池田佐長

二、進幕下管 ②大島佐長 ③小野佐長

三、無敵 ④川俣上等兵以下之ヲ服務ス

陸軍

衛

生 一、全意回復ス

下上 一八五

輸送指揮官

一、本船、明ニ十五日ハ五ノ〇、瀬在錨地、拔錨、即露露ニ進航ス

瀬 瀬 濤

二、瀬在假右向將校以下、裝具又上衣ヲ脱スルニトシ、俟ルニ夜間

甲板ニ出スル者ハ救命胴衣ヲ裝スル

明ニ十五日ノ起床ハ六ノ五ノ〇トス

三、爾余ノ諸件ニ関シテ、航輸命第一三號ニ據ルハシ

四、下ノ船内輸送指揮官、陸ニ定位ス

輸送指揮官 露露口中佐

下達後、運命命令員領者、日直系統ニ之ヲ役、即支付

一、二、三日ノ夜間、機中ノ積載ヲ段リ

二、本船、固ヨリ五ノ〇ノ機中ニ敵潜水艇出沒トシ、嚴シク警備ス

三、進航

一九、瀬在濤ニ到着假泊ス

記 事



天  
年  
月  
日  
候  
輸送指揮官  
命令

昭和十九年七月二十五日

晴

航輸命令第百四號

七三三、ロニョロ

一 部隊本二十五日那霸に於て一部部隊ノ揚陸セトス

二 各隊ハ現泊地出港時及那霸入港時對潛監視ヲ

嚴シクシムヘシ

三 師及師團那霸ニ於テ上陸スヘシ

四 航輸命令第百號ニ據ル勤務員ハ一部項部隊ノ揚陸作

業ヲ援助スヘシ

五 海没物件ハ特ニ未定ノ外各鋪地ニ於テ整齊備司令ノ統一

区署ヲ以テ之カ沈下ノ処置ヲ講スヘシ

輸送指揮官 西路口中佐

下達法

印刷交付

訖 幸 一 脚 進航中逐次揚陸ノ諸準備ヲス

陸軍

海軍部  
命令

御隊命令第百四號

那覇

一 師部隊は二十五日那霸港到着トモテ入員及器材揚陸ノ

船内諸規程ハ實施ニ関シハ四大部隊船舶部隊先任所

長協定スヘシ(那霸揚陸前作業援助隊ヲ差出港ニ付)

二 師隊揚陸主揚荷作業ヲ左ノ通りハ得ルベシ

區 命	將 林	下 官 金	備	考
人員部下掛	園 中尉	下 一 四	良本部人員ヲ以テ充ツ	
荷物部下掛	水野 少尉	下 二 四	陸軍部人員ヲ以テ充ツ	
荷物運搬掛	周 少尉	下 一 九	陸軍部人員ヲ以テ充ツ	

注意ト個人裝備ノ整齊トハ各部隊長ノ責任ニ任スルベシ

二 人員部下掛者ハ各隊下達法ニ依リ協定ノ死守時

十 様注意スル

下船後各中队又銃、器具、服、監視者ヲ附

速ニ指揮者、指示ノ受ケルコト

輪船指揮官

一 航輸命第三五號

那 霸 弁

一 砲矢隊、那霸上陸部隊、揚陸作業完了後、船艙船壁

ニ移駐スル

二 船内諸規定、實施ニ関シ、船艙部隊主任將校、已署

ヲ受ケル

三 航輸命第三四號ニ據リ、那霸揚陸作業援助隊、其

ノ長、已署ヲ以テ甲板諸材料、船艙内へ積替作

業ヲ行ヒ實施スル

四 細部ニ関シ、船舶機關ノ相互協定スル

五 船、艇、面部隊、那霸ニ於テ前諸項作業ノ実行

ニ係リ、停ニ付テ夜清掃検査ヲ實施スル

陸 軍

一 那霸假名爾機、本署ノ外將校以下、服装、及上衣ヲ脱スル

二 二トシ、但シモ夜間甲板並ニ出ル者、救命胴衣ヲ裝スル

三 起床時間、特ニ示スモノ、外口六ロトス

輸送指揮官

露路口申佐

下達協命令受領者、集メ口達筆記後印刷交付

記 事

一 五二七九 那霸新港 訓書

各隊、船上陸準備完了、船艙船内ヲ清掃、各係員

(各隊下ニ宣)ヲ以テ検査ヲ實施スルニ終リ、ト共ニ全員甲

板ニ上陸前、列進キテ待機スル

二 予、四六、部隊副官、茶倉大尉、同動上陸直ニ、球部

隊、曉部隊、船輪送司令部ニ至リ、爾後ノ行動ニ関シ

細部ノ打合セテ、係員同伴ニ、五二七九ニ歸艦ス

三 部隊、御隊命令、渡、基、本、音、本、船、艙、始、一、三、〇、全、員

下船完了直ニ、河部部下ニ係ス

今知事

英軍部隊  
命令

- 一、富田中尉、大佐、三ノ浦後、給養、至宿舎、取信、任不
- 二、松尾軍医中尉、宿舎地衛生、状況、並、手視、察、
- 三、六部隊、下船、同時、荷物、揚陸、作業、是、期、ヲ、速、ニ、進、行、ス、
- 四、揚陸、作業、一、次、中、止、ス、
- 五、御隊、命、第、一、一、號、
- 六、一、第、二、次、夜、置、置、負、坂、口、港、所、以、下、二、五、名、本、日、十、五、〇、〇、合、併、御、子
- 七、神、中、尉、之、指、揮、下、入、ル、
- 八、二、部、隊、本、夜、與、儀、陸、軍、一、隊、合、ニ、隔、離、ス、
- 九、三、陸、軍、陸、基、軍、營、野、村、役、人、以、下、二、四、名、(一、次、夜、置、置、負、以、上)
- 十、先、行、二、隊、隊、員、以、備、置、ス、
- 十一、四、水、野、谷、之、所、以、下、一、四、三、名、之、荷、物、卸、下、ス、
- 十二、船、内、ニ、在、リ、任、務、ヲ、
- 十三、續、行、ス、
- 十四、三、部、隊、本、夜、資、材、監、視、ス、
- 十五、長、以、下、九、名、ヲ、差、出、シ、資、材、自、水
- 十六、揚、陸、所、ヲ、視、察、ス、
- 十七、視、衛、兵、上、等、服、務、ス、
- 十八、
- 十九、
- 二十、

六、三、部、隊、本、夜、資、材、監、視、ス、

三、陸、軍、陸、基、軍、營、野、村、役、人、以、下、二、四、名、(一、次、夜、置、置、負、以、上)

四、水、野、谷、之、所、以、下、一、四、三、名、之、荷、物、卸、下、ス、

五、御、隊、命、第、一、一、號、

六、一、第、二、次、夜、置、置、負、坂、口、港、所、以、下、二、五、名、本、日、十、五、〇、〇、合、併、御、子

七、神、中、尉、之、指、揮、下、入、ル、

八、二、部、隊、本、夜、與、儀、陸、軍、一、隊、合、ニ、隔、離、ス、

九、三、陸、軍、陸、基、軍、營、野、村、役、人、以、下、二、四、名、(一、次、夜、置、置、負、以、上)

十、先、行、二、隊、隊、員、以、備、置、ス、

十一、四、水、野、谷、之、所、以、下、一、四、三、名、之、荷、物、卸、下、ス、

勤 務

一、前、物、監、視、衛、兵、

第、九、甲、隊、音、川、任、員、以、下、九、名

天年  
命置部  
隊令



日直下士官  
山本下士官

第中隊 池田佐良

4. 藤宮衛兵

IA 小野佐良  
P 大島佐良

5. 対潜監視

第三中隊 水野上等兵以下六名  
柴田上等兵以下七名

6. 荷物積載場監視

第九中隊 夜田兵以下十一名

昭和十九年七月二十三日

晴

御隊命令第一二號

七二三、〇八〇、  
與儀 宿營地

一. 隊置部隊の與儀ニ於テ所路ヲマゼントス

二. 各隊ニ廠舎南側高地ニ於テ天幕布展張シ所路ヲ示ス

三. 日直將隊

陸軍中尉

岡太郎

山本衛兵

陸軍中尉

坂口順郎

六. 隊置部隊の與儀ニ於テ所路ヲマゼントス

辛山武治

右頭書道ノ上ニ五月二十五日番勤務ヲ命ズ

依テ所路ヲ示シテ交代服務スルニ交代所用ハ〇八〇トス

四. 所路ヲ示シテ交代服務スルニ交代所用ハ〇八〇トス

左記

第一隊ヨリ司令一(下士官)歩哨掛ニ歩哨六

七月二十三日上番勤務者ハ〇八〇トシ交代ハ〇八〇トス

服装ハ靴銃帯剣トス

公用以外ハ一飯ニ外出ヲ禁ス

五. 診断ハ急病心シキニ〇八〇ヨリ本部宿舎ニ於テ実施ス

整言急集合所ハ所路官地南側高地トス

五. 日課時限ヲ左ノ如ク定ム

起床 〇五三〇

日朝美呼 〇五三〇

會報 一六〇〇

診断

一五〇〇

日夕長呼

二〇〇〇

消灯

二〇三〇

六、給養二隔離中ハ與儀ニ廠令トス

七、荷物集積所衛兵ヲ左ノ如ク定ム

二十四日 上番隊ニ中队服務スベシ、爾今建制順序ニ服務スベシ

司令 (下士官)

歩哨掛

一

歩哨

一五

八、炊事勤務者トシテ各中队ヨリ兵ニテ差出シ富田中队ノ指示ヲ受ケルヘシ

九、明年四月迄ハ次輪送糧菓至荷物却下シメ各中队ヨリ兵ニテ差出シ富田中队ノ指示ヲ受ケルヘシ

一〇、兵五名ヲ差出シ富田中队ノ指示ヲ受ケルヘシ

記事

一部隊ヨリ起床日六日本部前ニ整列糧菓至荷物却下

作業修繕一八〇修業

地盤崩及

南 中尉

日直下士官

平山庫曹

衛兵

第一中队清秋兵校以下五名

荷物監視衛兵

第一中队鈴木健曹以下十四名

衛生

一、第一中队鈴木健曹以下十四名

二、部隊全員一三〇〇ヨリ模便ヲナス



天 命 隊 部 候

昭和十九年七月二十四日

晴

御隊命第一三號

與儀 庫曹

一本三十四日第一二次輸送糧菓至荷物却下シメ各中队ヨリ兵五

名ニテ差出シ富田中队ノ指示ヲ受ケルヘシ

二日直務夜 二十四日 水野谷少尉  
 二十五日 坂口准尉  
 二十六日 岡中尉  
 二十七日 水野谷少尉  
 三巡察下士官 二十四日 太田 庫曹  
 二十五日 平山 庫曹  
 二十六日 塩原 庫曹  
 二十七日 渡辺 伍長  
 四各隊「軍紀」ヲ振作シ諸勤務ヲ確行特ニ防寒節水  
 三「保清」ニ徹スト共ニ保健ノ向テ努力スベシ就  
 中生水ノ飲用ハ嚴禁ス  
 五「第」次或置員ハ本日以降各中隊ニ復歸シ起居スベシ  
 六「左」記ノ者奉命對置員ト起テ居ラ共ニスヘシ

陸軍

左記

陸軍兵弁 杉田清藏  
木村二郎

残置部隊  
命令

残置隊命令追加

一 明十五日部隊全員、軍衣、被褥、食料、糞桶、糞桶整理を分  
 一 實施ス依テ左ノ通リ心得ヘシ  
 細部ニ関シテハ周中尉ノ指示ニ依テ行フベシ

左記

1. 集合時刻 八〇〇 本部隊前  
 2. 寒天ノ残置者ニ勤務員除、全員  
 (食食ノ携行 服装略装上衣ノ履ニ春脚履ヲ穿テ居ルベシ)  
 一 入院患者見舞、各隊長代理トシテ杉田上等兵ヲ充テテ見舞スベシ  
 部隊ニ出候ベシ

記

二、第三次渡置隊軍某等荷物揚陸ノ場合、坂口准尉以下五名  
 (各銃中隊ヨリ五名先カケル)ハ、ロヨリ那覇新港ニ渡岸壁  
 二待機セシモ、連丸ノ入港ヲ見ヤシニ依リ、一、ロヨリ船  
 三、更ニニ、再連絡、クム下士官以下七名、渡置ト輸送部ニ  
 於テ及復交渉ノ結果、四、ロヨリ揚陸ノ予定ニ勤務兵再  
 編成シ、徹宵作業セリ、

一、一般隊余ノ各中隊隊兵負、棄ラ体養食ラ本体トシ其ノ  
 周兵器被服ノ手入ニ專念シ之ガ確行ヲ期ス

一、衛兵  
 二、衛兵  
 三、衛兵  
 四、官林上等兵以下九名  
 五、西岡中隊以下一八名  
 六、本中隊ヨリ二名増援

一、入院患者以外、異病ナシ  
 二、全般ニ極大ニ疲勞シマシ

陸軍

天候  
 露露司令官  
 日日命令

與儀(露露)日命第一號

時  
 二五、一六〇〇  
 與儀(露露)司令官

一、各部隊ハ船固揚陸作業援助、夕明ニ大目入、此ニ左記  
 人員ヲ既部隊ニ差出シ、近藤中尉ノ指揮ヲ受ルベシ

左記

部隊別	差出人	捕	要
独混隊十五	四	長	軍曹以下
四支隊	二	長	兵長以下
六支隊	一	長	兵長(上志)
第一独隊	一		
第三独隊	一		

二、作業勤務負、既部隊ニ於テ、所定收容ニ給與、既部  
 隊ニ於テ、明食ヲ給與ス

三、作業負差出シ期間ハ、船待機間(約十日間)ニ一、定



余二露路宿舎ニ在リ

露路司令官 市原大尉

下達後、命令員履着ヲ集メ筆記スル

口達事項

- 一、第一項使役人員、防蚊設備等々、防蚊設備ヲ携行シ
- 二、独在第十五联隊、庫曹、全員ヲ指揮シ増田中尉ニ連絡
- ニト

三、使役人員ノ交代ハ五日間各ニ交代スル可

記 事

- 一、予ハ残置部隊状況報告ヲシメ伊波部大隊本部ニ出張シ
- 本日迄ノ取リ得タル行動ヲ詳細ニ報告シ連絡シ爾後ノ行
- 動ニキ打合セヲナシ帰廠一八九〇ナリ

二、各中隊全員、厨中尉ノ指揮ニキノ學軍大演習荷物ノ  
区分整理ノ實施一八九〇、帰廠ス

陸軍部

御隊令第一四號

陸軍部 陸軍部

陸 軍

一、本隊大演習後、本積荷物整理区分ヲ實施ス

依リテ左ノ通心を得ル

一、各中隊（約10、15、20名）ノ兵四名除ク外全員トス

二、細部ニ関シハ厨中尉ノ指示ヲ受ケムヘシ

三、明ニテ六、八、〇、三ニ與儀露支日命廿第號ニ依リ船面

揚陸作業援助シメ各中隊兵四名） 第一項差出人員

除クテ兵四名、曉部隊ニ差出シ官本庫西日ノ指揮ニヨ

リ、曉部隊近ノ厨中尉ノ指示ヲ受ケムヘシ

依リテ作業援助期間ハ五日間ノ予定トス

口達

一、勤務員防蚊設備ハ車積荷物監視係兵所前ニテ

係員支給スルニ付兵カヲ差出スル

二、勤務員、中食携行、夜食、曉部隊ニ於テ宿泊

給與ス

記事

勤務

衛生

陸軍  
衛生部  
衛生令

陸軍  
衛生部  
衛生令

又爾今巡察下士官の日直下士官ヲ兼テ服務スヘシ

一各中隊より四名ヲ除ク四名ハ本軍曹隊員隊員ニ協同  
作業ヲ援助徹夜作業ニ極度ニ体力ヲ消耗ス

一前哨監視隊員  
③ 奇襲隊員以下十八名服務ス  
⑤ 北軍上等兵以下 九名服務ス

全報ニ依リ其ノ被ニ達スニ由リ中ナシ

昭和十九年七月二十六日 晴

独混二五作令第廿二號

七二六、一ニカ

一騎隊ノ後續人員及資材ハ七月二十五日即霸軍頭ニ揚陸  
ヲ完了シ集結ス

一隊隊人員ノ糧食資材、各守備地ニ輸送セシム

一御子神中隊人員資材中第三大隊ニ倚スルモノ

陸軍

一庫車停車場司令部ト連絡ニ付ス

一兵器委員ハ二十七日即霸軍頭ニ到リ各種火器ヲ追及隊員ノ到

四分ノ一第三大隊ニ追及スルコトス

一高級主計ハ二十七日即霸軍頭ニ到リ揚陸隊員及資材ノ中

二日分ヲ第三大隊ニ追及スルコトス

一高級軍医ハ二十七日即霸軍頭ニ到リ到着者急病生員材ノ創

八ノ一ヲ第三大隊ニ追及スルコトス

一御子神中隊ノ後續部隊(第三大隊ノモトヲ除ク)ノ追及スルキ

人員又糧食資材ヲ指揮シテ先ヅ嘉手納ニ向

二前進ス

一水野谷少尉ハ速ニ船舶司令部ト連絡シ第三大隊ニ追及

スルキ人員資材ヲ輸送ニ任シ伊弉島ニ到リ第三大隊長ノ

指揮下ニ入ル

彈藥資材、搭載、第三大隊、人員ヲ以テ、夜間、  
 十富田主計中尉、那覇到着以降、経理業務ヲ整理シ、  
 以後、可速ニ本隊ニ追及スヘシ  
 土、予、古里國民學校ニ在リ

独立混成第五旅隊長 美田大佐

下達伝 印刷交付

記 事  
 一、予、兵技準尉坂口順郎以下四名、帯同シ、現在在、輸送狀  
 况報告、三爾後、行動ニテ、指示、後、詳細ニ連絡ヲ清  
 二、部隊、前日、引續キ、荷物、軍需資材、整理、已合ナシ

勒 務  
 一、前日、引續キ、既部隊、援助、作業、徹宵、服務シ、  
 二、荷物、監視、衛兵

④ 堀内軍曹以下十八名  
 ⑥ 北倉任衣以下九名

衛 生  
 一、既、隊、本、部、員、陸、軍、上、等、志、者、為、檢、査、便、ノ、結果、擬、似、患、者

陸 軍

残置部隊 命令

御隊命令十五號

其、他、異常ナシ

一、明日、引續キ、荷物、軍需資材、整理、已合、左、記、人員、  
 二、九、日、迄、集積、所、ニ、差、出、シ、藤、本、中、尉、ノ、指揮、ヲ、受、ク、シ、各、部、  
 三、協、行、服、装、前、日、ニ、同、シ

左 記

部隊別	要員	備 考	部隊別	要員	備 考
本部	下士官	平山軍曹	IA	七	
1	七		TA	七	
2	七		P	五	
3	七		2NK	五	
6	七				

二、太田軍曹、(勤務負、除、)一、三、日、迄、全、員、ヲ、指揮、シ、荷  
 物、集積、所、ニ、至、リ、廣、中、尉、ノ、指示、ヲ、受、ク、ベシ、(本部、工、兵、之、荷、物、



昭和十九年七月二十七日

輝葉資材ノ搭載準備  
三、水野各少尉ヲ第三大隊全員ヲ指揮シ輝葉資材荷物ノ搭載準備ヲナスベシ

四、陸軍少曹 鈴木義衛  
明三十七日陸軍少曹官本之松ト交代服務スベシ

昭和十九年七月二十七日

晴

一、予ハ聯隊本部岡澤大尉ヲ補主計大尉ヲ兼内ノ軍司令部、船舶輸送司令部、鉄道司令部ニ至リ爾後ノ行動ヲ輸送ニ関シ打合セラセ

二、部隊ニテ大日命令ニ基キ各中隊ヨリ夫々七名ヲ藤本中尉ノ指揮ニシテ各種彈藥ノ種別区分ヲ實施ス

三、右人員ヲ除キ部隊全員一三〇〇ノ荷物集積所ニ至リ各

陸軍

衛生

衛生司令部

一、疲労ノ甚キ者ハ連日ノ入役者以外ハ田舎場ハシ  
二、衛生司令部ニテハ  
三、衛生司令部ニテハ  
四、衛生司令部ニテハ

一、差出人員長以下五十名 (①②③④中隊計八) 第一中隊ヨリ

二、集合時刻一八〇〇トス

三、明日ノ日防疫措置ヲ完了シ與儀廠舎ヲ徹收シ那霸駐前宿舎ニ全員ヨリテ左ノ如ク心得サベシ

一、起床  
二、廠舎出発  
三、昼食携行

- 3. 各隊、起床と同時に天幕ヲ撤収スベシ
- 4. 糧秣及其他資材梱包、荷馬車ニ依リ運搬スベシ
- 三、明日八月ヨリ兵器糧秣糧秣其、他資材ヲ左記ノ通り運搬ス

左記

一、朕隊本部工、兵、衛生中隊ノ梱包ハ、岡中尉ノ指示ニヨリ  
 ロハロヨリ岸壁ホ一ニ運搬シ貨車ニ積込シテ運搬スベシ  
 二、第三大隊、水野各少尉ノ指揮ニ依リロハロヨリ船団  
 三、積込シテ二十九日迄ニ完了シ速ニ本隊ニ進及スベシ  
 三十一日迄ノ給養、疾置部隊給與ニ依ル  
 三、坂口中尉ハ本部、衛生中隊ノ兵カヲ以テ明日二十八日、二十九  
 日両日ノ薪手ノ飼料貨物卸下ニ任ズヘシ  
 四、給與六二十八日夕食ヨリ部隊本部給與トス  
 五、...

陸軍

記事

一、八日、勤務員出発、既報隊平賀中隊ノ返答ヲ受テ撤収作  
 業ヲ實施ス(①池田係長以下四口名本隊混成トス)

年月日

昭和十七年七月二十八日

晴

記事

一、前日命令ニ基キ全カヲ盡シテ貨物搭載ニ船団着込作  
 業ヲ實施ス(夜、日、継行シテ)

御隊命令

第十七號

那霸宿舎

- 一、疾置部隊、本日那霸宿舎ニ於テ宿営マシラス
- 二、各隊、宿舎別紙要因宿舎已分ニ基キ宿営スベシ
- 三、日直中尉 陸軍中尉 岡 太郎
- 四、夜直下官 陸軍中尉 岡 太郎
- 五、夜直下官 陸軍中尉 岡 太郎
- 六、夜直下官 陸軍中尉 岡 太郎



右頭書ノ通り七月三日正午上番勤務ヲ命ズ  
依テ三日入日一八〇ヨリ服務スベシ交代一三〇ヨリ  
四合宿舎ヲ左ノ如ク定ム

左記

1. 宿中隊ヨリ司令一(下直) 歩哨掛一 歩哨九  
(定位置ハ停車場前トス)
  2. 特別守則 巡警経路由肉シハ別ニ指不ス
  3. 一月二入日正番勤務ハ一八〇トシ交代ハ一三〇トス
  4. 服装ハ執銃階制トス
  5. 公用以外ハ絶対ニ外出ヲ禁不ス
- 但シ入浴時ニ於テハ指揮者ノ引率ヲ以テ夜更スベシ  
6. 夜更ニ集會所ニ駐ル東側廣場トス
- 五. 診断ハ急患者ノ一九〇ヨリ本部宿舎ニ於テ夜更施ス

大給長 七月三日入日正食ヲ各宿舎地ニ於テ夜更施ス

陸軍

命令追加  
一 部隊ハ明三日九日全方ヲ盡シ彈藥資材ノ積載ヲ急務  
二 部隊ハ明三日九日全方ヲ盡シ彈藥資材ノ積載ヲ急務  
三 部隊ハ明三日九日全方ヲ盡シ彈藥資材ノ積載ヲ急務  
四 部隊ハ明三日九日全方ヲ盡シ彈藥資材ノ積載ヲ急務  
五 部隊ハ明三日九日全方ヲ盡シ彈藥資材ノ積載ヲ急務  
六 給長 七月三日入日正食ヲ各宿舎地ニ於テ夜更施ス  
七 予ハ旭所ニ元山ロ方ニアリ

昭和十五年七月二十九日

天候 晴

勤務

ス依ツテ各隊ハロハロ直ニ本部之別ニ集合シ第一大隊ハ岸頭ホームニ於テ貨車ニ彈藥資材ヲ搭載スベシ第二大隊ハ集積所ヨリ岸頭ホームニ運搬スベシ(船舶部ニ関シテハ周中尉ノ指示ヲ受クムベシ)

二、水野各少尉ハ第三大隊ノ全カヲ傾注シ船団搭載ヲ完了シ諸準備ヲ整ヒ出発ニ遺憾ナキヲ期スベシ

三、第三中隊ハロハロ直ニ復讐矢ヲ徹作ホシ一二〇〇迄休養シ別ニ指示作業ヲ實施スベシ

昭和十五年七月二十九日

大尉

一部隊ハ二時入日命令ニ基キ全カヲ盡シ各々任務ニ邁進シ貨物、船団ヲ搭載シ完了シ後部貨車ヲ嘉手納駅ニ輸送スニ〇〇〇一時作業ヲ中止スルヲ命ズ

二、荷物監視衛兵 ② 内警備隊兵以下九名服務ス

陸軍

一、異状ハ一瞬ハ大聲ニテ異状場ヨリ直ニ司令ニ報告ス

四、左舷歩哨特別守則

一、船首樓下左舷船倉入口ヲ定位トシ警兵ノ該倉へノ出入ヲ禁ズ

二、夜、灯火管制時ニ甲板ノ喫煙ヲ監視ス

三、異状ハ一瞬ハ大聲ニテ異状場ヨリ直ニ司令ニ報告ス

下達後 印刷交付

航輸命令第十四號

敵情ニ関シ新報ヲ得ス

本船団ハ今夜現在地ニ假泊シ明十五日〇五〇〇拔錨南薩西岸迄或海面ヲ航行シテ概ネ二〇〇〇頃鹿児島湾口ニ港ノ予定

海軍艦艇一部又陸海軍航空隊ノ存力ナル一部ハ依然

本船団ヲ護衛ス

二、部隊ノ假泊地ノ整頓ヲ嚴シク、爾後ノ行動ヲ準備セシム

三、各隊ノ船内整頓ヲ嚴ナラシムト共ニ將兵ノ休息ヲ通切ニシ

特ニ防疫軍紀ノ振作ノ保健ノ向上ニ著意シカラスベシ

灯火管制ヲ確行スト共ニ船内各艇ニ亘ル静粛ノ保持ニエ

夫ヲ加ヘ將兵安眠ノ促進ヲ期スベシ

假泊地ニ於ケル個人裝備ノ抗輸命令第十一號ニ據リ特ニ

保健ニ創意ヲ實行スベシ

本十四日ノ消灯時限ヲ二〇三〇ニ又明十五日ノ起床時限ヲ

〇五〇〇ニ変更ス

輸送指揮官

露路口牛佐

下達法

印刷配布

會報 疾置隊會報

一、抗輸命令第十一號第三項ノ防疫保健ニ十分注意スルコト

患者ヲ得ルニ投薬ノ必要ニ診察ノ便宜ヲ謀リテ大腸炎

ニ依リ下痢患者ノ相傳教ニ上テ加ヘ各中隊ニ於テ疾置員選

擇ニ際シテ健康狀態ノ不良ナルヲ殆ク之ニ加ヘ注意ス

入院患者ニ名病者ノ未定ナルモ消化器病疾是一名アリ

二、船舶轉送内衛生状況

人員並乗船員分

一、抗世丸(五〇噸)ニ乗入者内ニ元丸一番ハテ下船艙室船首側

約半室大〇名、船橋後方オ三番ハテ下船艙室共ニ他部隊ト

混乗ス

二、進丸ニ五名抗世丸ニ積載不能ナルノ彈藥共ニ他梱包ト共

ニ主刀ト別ニ乗船ス

洋收容力ハ平均約十人強

社叢具ノ脱シ背囊等ヲ各中隊各ニ船壁ニ倒ニ集積ス



天生カヲ取リテ最大浪度漸ク入リ得テ或ハ中浪ノ下ニ入空  
不能ナリシ満員ノ状態ナリ  
空装四重

二段床トシ居生高僅ク二寸初ノ間隙アリ天井ニ障ラス  
甲板ノ裏面鉄壁ノ腐蝕甚大ニシテ鉄層落下ノ概全  
不快ナリ

床六枚「博」ヲ用意ス上段ノ床ニ分板ヲ周原ホ大  
ヤシメ塵芥ノ格下ト甚カシ

第一番ハ十四列(一列各四位)ノ縦格ヲ取リ付テ救急カ  
置ニ慮ズル如ク有テ他ニ左右船側ニ各一列ノ昇降口アリ

ハ通風筒ヲ船首部ニ向テ使用スル船艙内ノ兵員充  
満加フルニ二段床トシ結果ニ通風効果ハ只ニ前口

部周辺半條ニ米程度ノ箇所ヲ福涼氣ニ感スル程  
ニシテ

四  
五

命令

一部隊所部員列儀ヲ無器操業其ニ他資材貨車搭載ノ実  
施ニ之ヲ定ム後即時市中内陸官署撤収直ニ本隊ヲ納メ向テ前進

二兵眷庫某資材未了分明日早一大隊其ノ搭載作業ニ任ズル  
三、關中尉ハ本報業天隊某天隊列車輸送(貨物ト同乗トス)ニ因リ之

四、水野各ヲ討ニ暴ニ命令スルニ基キ船船司令部ト連絡ニ速ニ伊  
江島ニ到リ、第三大隊ノ指揮ニ入ルルニ

五、給養ハ明三日夕食ヨリ、隊本部給養トス  
六、富田主計中尉ハ、兵務整理後速ニ本隊ニ追及スルニ

三、署スル

二、署スル

一、署スル

七、本于九日左記ノ如ク荷物監視衛兵ヲ差出シ服務スベシ

左記

差出中队

臺中队長以下四名(那霸駐隊衛兵所)

長以下五名(三號岩壁衛兵所)

但シ三十日迄トス

記 幸 一、各隊天命令ニ基キ大風雨ニ不向貨車搭載作業ヲ母見テロリ  
代貨車三九車輛ニ達ス

二、第三大隊ハ輸送箱搭載不能ニツキ將兵共ニ休養ヲ要ナリトシ  
其ノ間兵器庫服ノ平入トナス

記 幸 那和十九年七月三十日 曇(小雨)

一、命令ニ基キ降雨ニ不向午前中貨車搭載ヲ完了シ九車  
輛積載ヲ完了シ午後三時外可慮小シク一回ノ積り量共一八車  
輛ニ達ス

二、積り量ニ依リ積込ノ順序ヲ得テ敷次ニ亘リ輸送

一、貨物積下終リ直前古壁國兵共枝柱之混成第十五隊隊本部  
到着ス

二、各部隊長ニ爾今那霸駐隊輸送状況ニ伊江島第三大隊輸送  
状況ヲ報告ス

三、各隊官ニ任務ヲ継テテ本部宿舎ニ於テ休養ス

四、各大隊係官ニ爾後各隊搬送運集資材梱包ノ已辨ラサン  
各隊輸送係ヲ以テ差出ス

五、差出隊御天御中尉以下一九五番一六〇番ヲ本部ニ到着  
第三大隊連第一大隊中隊ニ加テ手納駐隊係官ニ當泊

六、本令自本令共令ニ當泊ス

昭和十九年七月廿一日 晴

記 幸 一、八三〇各中队各連馬車備上各隊分屯地ニ分進セシム

二、予一四〇兵甲村中伊波大砂本部ニ向テ附近一八〇〇到着ス



衛生

一、設置隊衛生概況

一、内可宿泊回衛生概況

一、宿舎状況

總計三八六名、矢張、周係上一四ヶ所、旅館ニ分宿ス  
旅館一般、設備、中等程度ニ稍、方リ換氣、状況、良好ナ  
ルモ、採光ノ良ニ到リテハ、不十分ナル宿舎アリ、勉メテ窓開放ニ  
努力ス、收容面積、概ネ一坪内ニ矢ニ多程度ノ所多ク、防  
蚊設備全ク不備具、南京虫等ニ依リ睡眠ヲ障害セラル、  
事多ク、寐具且、不潔炊事場、各、防蠅ニ努力シタル模  
様ナリキ

二、患心者発生状況

患心者数、五病類別等、別患者者日報ニヨル  
患者ノ中、胃腸疾患、其ノ大部、分ヲ示シ、而カモ、其ノ過  
半、水飲料ヲ意、衛生設備、習志野、廠舎ニ於テ

乗船前短期間

然カモ限リ、定期内ニ負担過重ナル物資  
運搬搭載作業ヲ連日経續セ、拘ラズ、下痢患者以外、殆  
ド全ク、持ニ隔離休養、要ス、患者、全航程ヲ通ジ、名程ニ  
止リ、好成績ナリ、其、他有患者、四名ヲ悉カセシム  
全航路間海面、比較的、平穩ナリ、モ、船酔者、相當ニ多  
ク、食慾不振者、中隊ノ約半、数以上ニ達シタル、遺憾ナリ  
又、習志野、硬水飲用ニ依リ、胃腸炎ノ完全恢復後、其ノ  
期間ノ短カキ故ニ、起因セシト思考ス

以下餘白

